

## 研究課題「耐性菌検査における新規検査法の有用性に関する研究」に関する 情報公開

### 1. 研究の対象

対象期間：2017年度から2018年度の2年間

施設：愛知県臨床検査技師会の微生物研究班に所属する技師が勤務しており、  
研究の趣旨に賛同が得られた愛知県内の医療施設において2017年度から  
2018年度までの期間に検出された下記基準を満たす菌株。

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院、JA 愛知厚生連 江南厚生病院、  
名古屋第二赤十字病院、名古屋第一赤十字病院、名古屋市立大学病院、  
名古屋大学医学部附属病院、JA 愛知厚生連 安城更生病院、  
小牧市民病院、JA 愛知厚生連海南病院、公立陶生病院、  
JA 愛知厚生連 足助病院、愛知医科大学病院、JA 愛知厚生連 豊田厚生病院、  
藤田保健衛生大学病院、豊橋市民病院

対象期間に上記施設に入院され、診療上必要な微生物学的検査が行われた患者さん。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

本研究では、近年世界的に増加している耐性菌の検査に関して性能が高く、安価で簡便な新規検査法を開発することを目的としています。研究参加施設において我々が検討を行っている新規検査法を用いて基準に該当する菌株を検査していただきます。

対象菌株は以下の基準を満たすものです。

- ・「第3・4世代セファロスポリン系抗菌薬が Intermediate (I) もしくは Resistant (R)」かつ「piperacillin/tazobactam (PIPC/TAZ) が I もしくは R」
  - ・「第3・4世代セファロスポリン系抗菌薬が I もしくは R」 もしくは 「PIPC/TAZ が I もしくは R」
- \*なお、Cefepimeについては、「susceptible dose dependent (SDD) or R」に該当する菌株を対象とする。

研究期間は実施承認日から2019年3月31日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

菌株提供施設の微生物検査に関する以下の情報

菌株に関する以下の情報

- ・ 検出検体の種類
- ・ 同定・感受性検査結果

#### 4. 外部への試料・情報の提供

研究への参加に同意する施設から、菌株及び情報を名古屋大学に集約して解析します。カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号など個人が特定できる情報は取り扱いません。菌株の遺伝子検査はユーロフィンジェノミクス株式会社に委託しますが、検体には新たに研究用の番号を振り直し送付しますので、個人情報提供されません。

#### 5. 研究組織

研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学・教授・八木 哲也

研究分担者

名古屋大学大学院医学系研究科・特任助教・井口 光孝

名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部・助教・富田 ゆうか、森岡 悠

名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部・医員・手塚 宜行、岡 圭輔

名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学・大学院生・原 祐樹

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科

特任助教 井口 光孝 （連絡先：臨床感染統御学 電話 052-744-2955）

研究責任者及び研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染統御学

教授 八木 哲也